

THE RACING PIGEON

10 2019 OCTOBER  
Vol. 727

レース鳩



令和元年度 協会タイトル特集 第三弾！

第28回 日本エースピジョン賞ベストテン発表！

特集／全国レース鳩品評会直前特集

「血統が導き出す“美”と“力強さ”」

第38回 鳩魂塔慰霊祭 開催



19年春 東京西連盟 桜花賞  
160羽中当日唯一羽帰り総合優勝

(実距離 998.532K / 分速 1413.118m)

“セイコー I号” 17MB01413 B ♂

鹿島成浩鳩舎 作翔 (東京西・武蔵野連合会)

\*第14回ジャパンカップ2,081羽中総合20位

“ゲルダ”の父“ジュエル”の重近親×ヨス・トーネ基礎鳩“SUMO”の重近親

令和元年度

ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位

“セイコー92号”

18MB11792 BC ♂

鹿島成浩鳩舎作翔

19年春東京西連盟

桜花賞総合3位

地区N総合37位



- ▶ 16MB04356 B 鹿島成浩作
- ▶ B13-5020129 DCW ヨス・トーネ作  
モンテリマールP優勝“ファロ”の直仔&  
07年イルナIN2位“イルナ”の直系×  
“SUMO”の孫“アリンゼ”の娘
- ▶ B13-5020699 BC ヨス・トーネ作  
“イルナ”の孫×[“ヴァレンティノ”×“ボコ”]の孫
- ▶ 15MA08197 BC 鹿島成浩作
- ▶ 13MB09636 BC 鹿島作翔 14年春GP連盟優勝
- ▶ 08MB16979 鹿島作 全兄弟 GP連盟優勝2羽  
ラストレーヌN優勝の父“アモニキ”×  
フロリゾーネの“ヴィットニュース”の娘
- ▶ 08MB16990 鹿島作  
“ミスター・ベルヒナン”×“ミス・マニワン”  
全兄弟の直仔/18年東日本CH総合4位  
全兄弟の孫/15年GP連盟優勝(15年7月号表紙の鳩)
- ▶ 13MB09811 BC 鹿島作翔 14年春GP連盟2位

19年春

東京西連盟桜花賞160羽中当日総合優勝

(実距離998.532K/分速1413.118m)

“セイコーI号”

17MB01413 B ♂

鹿島成浩鳩舎作翔

\* 翔歴は表紙参照

- ▶ B08-5061650 BC ヨス・トーネ作
- ▶ “パチュラー” B02-5051318 ヨス・トーネ作翔  
02年ラストレーヌP優勝・N47位
- ▶ “ヴェガ” B98-5075997  
96年バルセロナIN優勝“ゲルダ”の父“ジュエル”×  
97年バルセロナIN優勝“アーノルド”の父“キルイ”の全妹  
B00-5271077  
上記“ゲルダ”の直仔×リモージュN8位“ウラ”
- ▶ B02-5051599 ヨス・トーネ作  
05年ナルボンヌIN2位“セドナII”の父(上記“ジュエル”の直仔)×“クライネ・モレナール”の母
- ▶ B13-5022852 BC ヨス・トーネ作
- ▶ B11-5010596 ヨス・トーネ作  
ラ・ステレーヌN23位、プールジュN25位他
- ▶ B10-5031151  
(上記“アーノルド”×“ボコ”)×  
“イルナ”(“SUMO”の直系[B03-5071666]の娘)
- ▶ B10-5031553 “SUMO”の孫掛け  
05年ナルボンヌIN優勝“セドナI”同腹×“セドナI”
- ▶ “クリアブル” B11-5010319 ヨス・トーネ作  
シメイ優勝2回、プールジュ優勝他  
“クライネ・フィーゴ”(“フィーゴ”全兄弟)の直仔×  
(上記B03-5071666×LCBナショナルAP賞1位“アヴリル”)

★ヨス・トーネは“ボコ”、“SUMO”を基点としたコロニーを武器にバルキニ鳩界のトップオニールウンダーとして君臨。鹿島成浩鳩舎はヨス・トーネ作を200羽以上所有。活躍鳩を輩出し、今春は桜花賞総合優勝、GP総合2位が、純で生み出されている。また17年にヨス・トーネ家が鹿島鳩舎を訪問。日本とバルキニのトップブレインズ同士、楽しいひとときを過ごしたようだ。



ヨス・トーネ氏

# 表紙の鳩

## 連盟当日唯一羽の完全勝利!

## 1000Kで示した鹿島トーネ系のパワー

### ヨス・トーネの代表鳩の「近親×近親」で1000K当日帰りを実現!

### 19年春東京西連盟桜花賞総合優勝 鹿島成浩鳩舎(武蔵野連合会)

#### “SUMO”の血が またしても!

鹿島成浩鳩舎は、ヨス・トーネの全代表鳩の筋、そして「ディズニー」、「ゴール」(\*17年12月号)といった看板鳩まで種鳩陣営に迎えている。所有するトーネバードは200羽以上を誇り、まさに国内屈指のコロニーを擁しているといつて過言ではない。そしてそのパワーが16年の日本最優秀鳩舎賞受賞につながったことは有名な話だ。

今春、両親ともヨス・トーネ作のレイスアが、JC併催の桜花賞で連盟唯一羽当日帰還を果たし、完全勝利を収めた。鹿島鳩舎にとつて9年ぶりに桜花賞制覇をもたらしたヒーローは、父方がゲルダの父にして、代表種鳩「ジュエル」の重近親。母方は「セドナI」に「ディールパクト」(09年オリンピアード代表鳩)や「ミラ」(Nゾーン優勝2回)、そして「イルナ」を生み出した銘種鳩「B035071666」を介して、中距離用の基礎鳩「SUMO」の銘血が幾度となく重ねられている。一代雑種を意識した配合で作られている一方で、長距離用の基礎鳩「ボコ」や「アールノルド」、「アヴリル」といったヨス・トーネの看板鳩が大きく絡み、また「ガニバル」(05年オリンピアード代表鳩)、「ゲルクダイ

フチエ」(05年ル・マンNPO最高分速)の同腹CHを生み出し、一大プライムを築いた「クライネ・フィーゴ」の因子までも搭載。今年、この「クライネ・フィーゴ」の血が会長賞全国1位、ベルギーでは、イスタンN最高分速(R・ヘルマンズ作)をもたらしたことは記憶に新しい。

ともあれ近年、鹿島鳩舎では今回のヒーローや16年の日本AP賞受賞鳩のように「SUMO」を絡めた「純産」のトーネバードの活躍率が高く、今春のGP総合2位鳩もそれ。「セドナI」の血まで含んだかなりの重近親鳩となっている。

一方、桜花賞で総合3位に終わるもKDBB会長賞連盟1位を射止めた「セイコー92号」も2分の1ではあるものの、「アリンゼ」(ラストレーヌN4位)と「イルナ」(経由した「SUMO」の近親鳩だ。相手は、14年の「GP連盟優勝×2位」で、「アモニキ」×B00-3167129と「ミスター・ベルヒナン」×「ミス・マニワン」(\*10年3月号表紙の鳩)と2つの当たり配合の血が脈を打っている。つまりは、鹿島鳩舎で強い「SUMO」系と本筋の基礎鳩として期待する「ミス・マニワン」の融合による成果だ。さて今春はRg、地区N、GP、桜花賞全てで総合シングルに叩き込み、かなりの好入賞率で「日本優秀鳩舎賞」の受賞を決めている。同鳩舎としては「日本一」が目標だったようだが、残念といった気持ちの方が強かったようだが、「日本最優秀鳩舎賞」の奪還に向けて大きな可能性を間違ったように示せたシーズンだったであろう。

鹿島成浩鳩舎(武蔵野連合会)